

# 仮払仮受・立替預り・貸付借入・資本（純資産）・税金

## （１） 仮払金と仮受金

### ① 仮払金・仮受金とは？

「**仮払金**」とは、例えば社員が海外に出張に行くときにとりあえず 100,000 円を渡しておき、帰国後精算するようなケースのとりあえずの支払いを言います。

「**仮受金**」とは、普通預金に入金があったが、何の代金の入金かわからないときとりあえず仮受金として処理するときのとりあえずの入金を言います。

### ② 仮払金の仕訳

（例題 1）社員が出張のため旅費の概算として 10,000 円を現金で渡した。

仕訳 （借）仮払金 10,000 （貸）現金 10,000

（例題 2）上記社員が出張から戻り出張費精算書が提出され、残額 1,000 円は現金で戻した。

仕訳 （借）旅費交通費 9,000 （貸）仮払金 10,000  
（借）現金 1,000

### ③ 仮受金の仕訳

（例題 1）普通預金に 3,000 円の振り込みがあったが、内容が不明である。

仕訳 （借）現金 3,000 （貸）仮受金 3,000

（例題 2）上記の入金は売掛金の入金であることが判明した。

仕訳 （借）仮受金 3,000 （貸）売掛金 3,000

## (2) 立替金と預り金

### ① 立替金と預り金とは？

「立替金」とは、本来は会社が負担すべき費用ではないが一時的に代わりに支払ってあげるもの、例えば事務用品が安かったのでお客様の分まで買ってあげて後でお金を請求する場合などの一時的な支払いを言います。

(例題1)社員Aから頼まれて、Aの給料のうち10,000円を現金で前払いした。

仕訳 (借) 立替金 10,000 (貸) 現金 10,000

(例題2)Aの給料30,000円から上記前払い分を差し引き小切手で支払った。

仕訳 (借) 給料 30,000 (貸) 立替金 10,000  
(貸) 現金 20,000

### ② 預り金とは？

「預り金」とは、社員が負担すべき税金などを会社が預り、代わりに税務署などへ支払いをするときに使用する勘定科目です。

(例題1)給料100,000円から源泉所得税3,000円と個人住民税2,000円を差し引き、残額を普通預金から振込支払いした。

仕訳 (借) 給料 100,000 (貸) 預り金 5,000  
(貸) 普通預金 95,000

(例題2)預っていた上記源泉所得税を税務署へ、個人住民税を区役所に現金で納付した。

仕訳 (借) 預り金 5,000 (貸) 現金 5,000

### (3) 貸付金と借入金

#### ① 貸付金・借入金とは

取引先へお金を貸した場合には、「貸付金」(資産)で処理し、お金を取引先や銀行から借りた場合には、「借入金」(負債)で処理します。

#### ② 貸付金・借入金の仕訳

(例題1) A商店はB商店に現金10,000円を貸し付けた。A・B商店の仕訳は？

仕訳 A商店 (借) 貸付金 10,000 (貸) 現金 10,000

B商店 (借) 現金 10,000 (貸) 借入金 10,000

(例題2) B商店は上記借入金を利息とともに現金で支払った。利息は、年利2%で借入期間は73日であった。両商店の仕訳は？

仕訳 A商店 (借) 現金 10,040 (貸) 貸付金 10,000

(貸) 受取利息 40

B商店 (借) 借入金 10,000 (貸) 現金 10,040

(借) 支払利息 40

#### ③ 約束手形を使用する貸付金・借入金

お金を借りる時には通常何らかの担保を差し入れする必要があります。この担保として、約束手形を使用することがあります。

(例題1) C商店は、D商店に現金3,000円を貸し付け、担保として同額の約束手形を受け取った。

仕訳 C商店 (借) 手形貸付金 3,000 (貸) 現金 3,000

D商店 (借) 現金 3,000 (貸) 手形借入金 3,000

## (4) 資本（純資産）

### ① 資本（純資産）とは？

無料講座「簿記の基礎」編で学習した資本（純資産）について、もう少し説明致します。資本とは、事業をスタートするときの元手のことです。ここで事業をスタートするやり方としては2つあり、個人事業主で行うのか、それとも株式会社を設立して行うのかの2つです。3級では個人事業主について学習していきます。

### ② 資本（純資産）の仕訳

（例題1）Aはパン屋を始めるために、現金100万円を元入れ（出資）した。

仕訳 （借）現金 1,000,000 （貸）資本金 1,000,000

（例題2）Aは、家族で外食する際にパン屋の現金5,000円を引き出した。

仕訳 （借）引出金 5,000 （貸）現金 5,000

（解説）Aさんとパン屋さんは別人格と考えてください。一旦Aは、パン屋を始めるために100万円を元入れしたので、100万円Aのものではなくお店のものになります。その後で、お店のお金をプライベートなことで使用することは一度元入れしたお金をやっぱりプライベートで使うから返してくれということと同じと考えます。そのため、この時は、「引出金」（資本のマイナス）勘定で処理します。ただし、引出金勘定を使用せず直接資本金勘定を減らすことも出来ます。（仕訳：資本金／現金）

## (5) 税金

### ① 税金とは？

会社にはたくさんの種類の税金が課税されてきます。その中で、お店の費用になる税金があります。例えば、「固定資産税」や「印紙税」、「自動車税」などです。

これらの費用になる税金は、「租税公課<sup>そぜいこうか</sup>」(費用)勘定で処理します。

<参考>個人事業主に課される所得税や住民税は費用にはなりません

### ② 税金の仕訳

(例題) 固定資産税 2,000 円を現金で納めた。

仕訳 (借) 租税公課 2,000 (貸) 現金 2,000